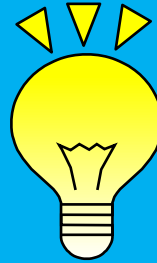


たかはま夢・未来塾新聞

# EUREKA

ユリイカ



第7号 2015年10月発行

EUREKAとは・・・見つけた！わかった！を意味するギリシャ語。アルキメデスが王冠の金の純度を図る方法を発見した時叫んだとされる言葉。英語圏ネイティブは、いいアイデアが浮かんだ時や何かを発見したとき、科学者や研究者に限らず、誰でも「Eureka!」と叫ぶのだそうです。

## ロボットクラブ世界大会3位!!



中国合肥市で開かれたロボカップジュニア世界大会でたかはま・夢未来塾から「Team Takahama K-ING」が日本代表として出場しました。個別チーム賞3位と4カ国からなる合同チームのベストチームワーク賞を受賞しました。

ロボカップジュニアは、複数の競技からなるロボットの大会で、Team Takahama K-INGは14歳以下の子供たちが二台の小型ロボットでサッカーを行う、「サッカーライトウェイト プライマリーリーグ」に参加しました。

## 全国ジュニア発明展入選!!

発明クラブの塾生2名の発明アイデアが、第17回全国ジュニア発明展のアイデア審査(1次)で「入選」しました。入選したアイデアに基づいて作品を製作し、出展しました。結果が分かりましたら、お知らせいたします。

## ディベート甲子園出場!!

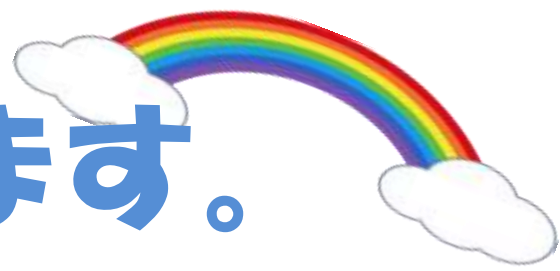
2015年8月8日～10日に東京・女子聖学院中学校高等学校にて、第20回 全国中学・高校ディベート選手権(ディベート甲子園)が行われ、たかはま夢・未来塾から高浜中学校チームが参加しました。結果、高浜中学校は、決勝トーナメント1回戦敗退し、ベスト16でした。

写真は、東海大会優勝のものです。





# 塾生の感想を紹介します。



## ロボカップジュニアジャパンオープン2015 出場者

### Team Takahama K-ING 名倉和槻(南中学校2年)

世界大会ではいろいろなことを学びいろいろなことに集中することができました。一週間のあいだ、僕はいろいろな人に会うことができました。外国の友達もできました。

審判やボランティア、出場者まで会話はすべて英語なので、コミュニケーションはすごく難しいです。しかし、会話をすることで英語に慣れてきたのでとても良い体験をさせていただきました。



### Team Takahama K-ING 鳥屋颯太(南中学校1年)

世界大会は今まで経験してきた日本大会などとは雰囲気の違い、試合の結果より他の国の人とのコミュニケーションを大切にしている感じがしました。

試合では個人戦、団体戦両方で世界大会にふさわしいとても高いレベルの試合をすることができました。

今回得た技術や貴重な経験をこれからのロボット製作に生かしていきたいと思います。

最後に、この世界大会のために僕たちにご支援、応援をしてくださった皆様ありがとうございました。



## ディベート甲子園出場者

### 鈴木亜美(高浜中学校3年)

わたしは、去年に続き二回目のディベート甲子園になりました。わたしが今年を表現するとすれば、去年より「選手だった1年」だと思います。去年は、チームに貢献もあまりできず、ただ用意されたものを理解する作業をしているような選手でした。しかし、今年は先輩が卒業され新しいチームになりました。私は去年関わることがあまりなかったパートを任せていただきました。はじめの頃はミスをしてばかりで、チームにたくさん迷惑をかけてしまいました。

しかし、試合数をこなしていくうちに、議論についてより深く考えることができるようになり、自分的に満足できる議論ができるようになりました。その瞬間、私は私自身の成長を実感することができた気がしました。

私はディベート人生の中で、いろいろなことが学べ、ディベーターとして人間として成長できたと思います。また、他の学校の人たちとかかわり合い、自分の価値観を変えることができました。一緒に戦ってきたライバル。共に戦ってきた仲間。ジャッジ・講師の先生。私はこの二年間数えきれないほどの人たちと出会ってきました。私をいろんな面で成長させてくれた、ディベートと私のディベート人生に関わってくださった方々に本当に感謝しています。これからも、ディベートと何らかの形で関わっていきたいと思います。

### 川崎莉鈴(高浜中学校3年)

全国大会で一番印象に残っているのは、チームメイトの心強さです。今までたくさん練習に付き合ってくれて、アドバイスをくれたチームメイトが励ましてくれたからこそ、集中して立論を読むことができ、白熱した試合をすることができました。

全国大会では、いろいろな選手と議論し、いろいろな試合を観て、自分の至らないところ、練習を生かすことができたな、と思うところ、そして、ディベートの楽しさに改めて気づくことができました。コーチのみなさんやチームメイトに感謝しつつ、今後もディベートに関わっていきたいと思います。

### 中野 旭(高浜中学校3年)

僕は去年も全国大会に参加しました。そのとき感じたことはチームの雰囲気の大切さです。

強い学校は仲が良く楽しそうでした。そこで、今年は雰囲気をよくすることを目標に練習や試合に取り組みました。

たまに騒いでしまう場面もありましたが、練習がとても楽しくより一層ディベートの魅力を感じられました。

後輩たちには僕たちの雰囲気を引き継ぎ、良い結果を目指して欲しいです。







# 高浜市長より

ロボットクラブの皆さん、ディベートクラブの皆さん、ロボカップジュニア世界大会出場、ディベート甲子園出場、誠にありがとうございます。

皆さんが高浜を飛び出して、全国や世界といった大きな舞台で活躍することができたことを、とても誇らしく思います。皆さん自身が肌で感じられたこととは思いますが、大会出場を通じて、異なる世代や異なる国籍の方といった多様な人間関係にふれる貴重な機会になったのではないのでしょうか。

最後に、皆さんの経験の一つ一つが、親御さんや講師、未来塾関係者など、様々な人に支えられていることに感謝するという気持ちを忘れずに、これからの活動に活かしていただきたいと思います。



## ディベート甲子園をサポートした後輩たち

### 鈴木美優香(高浜中学校1年)

私は、今まで沢山努力をして頑張ったけど、負けてしまったことがとても悔しかったです。でも、全国大会で他の学校の試合を見たりしたことで、立論をどう読んだらポイントが上がるのかや、反駁のやり方など、様々な事を学ぶ事が出来ました。なので、今回の全国大会で学んだ事を次回の春大会や、東海大会に活かしてまた、全国大会の舞台に立ちたいです。

### 清水賀斗(南中学校1年)

東京の大会にフロッターとして行って感じたことは、他の学校の人は論題についてよく調べているということでした。南中でも論題についてもっと調べることにしようと思いました。

# 講座報告

## まんがを 描いてみよう！

夏休み中に「まんがクラブ」の講座が行われました。高浜市在住のまんが家たかまこさんを講師に今年も16人の塾生がまんが作品を作りました。作品は製本し、高浜市小中学校・関連施設に置いてもらう予定です。



## おもしろ科学実験

第1回講座は、「偏光板のふしぎ」というテーマで実験をしました。壁があるように見えるのに、鉛筆がすり抜けて見える不思議な筒を作ったり、偏光板を使った実験をしたり、偏光板を使った万華鏡などを作りました。今年も5回の講座があります。





# 映画ビデオクラブ 撮影をしました。

8月20日～21日の2日間で、映画の撮影をしました。  
今年の映画は、全員が考えてきたアイデアを少しずつ取り入れて、1本の映画にしました。  
内容は、幼少期の織田信長が高浜市にタイムスリップしてきて、現代の子どもたちと交流するお話です。  
撮影期間が短く、大変でしたが、みんな頑張ってセリフを覚え、演技しました。  
作品は、11月の翼公民館祭りで公開する予定です。



# 英語でアートクラブ パペットづくり



今年は、牛乳パックを土台にしたペーパーマシェの顔に流木で作ったボディをつけたパペットを作りました。  
髪の毛やお洋服などいろいろ工夫して、個性あふれるパペットが出来上がりました。  
英語でアートクラブでは、製作の合間に英語を使ったゲームをします。  
写真はスプーンズという、色、におい、味を表す英単語を使うカードゲームをしているところです。



# 今後の予定

## ロボットクラブ

# 高浜ノード大会開催！

ロボカップジュニア 高浜ノード大会を下記日程にて行います。  
塾生たちが工夫を凝らして作ったロボットによるサッカーの試合です。是非、見に来てください。

日時: 11月1日(日)  
9:30 開会式  
10:00 予選リーグ  
12:45 決勝トーナメント  
15:30 閉会式  
場所: 翼ふれあいプラザ  
(未来塾建物1階)



上位チームは東海大会に出場できます。  
※駐車場に限りがあるため、満車の際は、豊田自動織機L&Fカンパニー 第3駐車場をご利用ください。

- 10/31(土) 発明クラブ 創意くふう展見学ツアー
- 11/8(日) ビデオクラブ 翼公民館祭 映画公開